



乾 咲良 (いぬい さくら)

大阪芸術大学／初等芸術教育学科
2023年卒業

略歴

卒業後、大阪芸術大学附属幼稚園で3歳児クラスの担任として毎日奮闘。今年度も引き続き3歳児クラスの担任として勤務。



紙芝居の読み聞かせ

好き! から学んだこと

私は幼い頃から絵を描くことや廃材を使ってもの作りをすることが好きで、将来は芸術に関わる仕事ができたらどれほど幸せだろうと思いつつ大阪芸術大学を訪れました。そんな中で私のこの「好き」という気持ちの始まりを考えた時に、幼い私のそばにはいつも、自由にのびのびと製作活動に取り組める環境があったことを思い出しました。そして今度は私が子どもの好きという気持ちを広げられたらいいなと思い、初等芸術教育学科を選びました。大学では教育についてはもちろん、芸術を専門とする教授からデザインや芸術療法を学ぶ機会があり、とても興味深かったです。その中で特に印象に残っているのは美術を専門とする教授の授業です。その授業では、甘い・辛い、嬉しい・悲しいなどの味覚や感情を色に例えて塗ってみようという時間がありました。最後に他の学生と塗った画用紙を見せ合い、意見交換をすると、私が想像しなかった色を塗っている学生



クレパス遊びや線遊びの原画

が沢山いて驚きました。そして教授が「同じ“甘い”でもみんな様々な色を塗っているでしょう。これからみんなが関わる子どもたちが自分と同じように見えていて、自分と同じ色で描くとは限らないよ。」と教えてくださいました。この授業は今でも忘れられません。このような多様な視点や考えを受け入れ、認めることは本当に必要なことであるし、いつまでも大切にしたいと思っています。それを教授が芸術を通して伝えてくださったように、私も子どもたちに伝えていけたらいいなと考えています。また、実習やボランティア活動で実際に出会った子どもたちを主役にした絵本を製本し、絵本の歴史と共に学生生活の集大成として卒業論文を発表しました。

現在は幼稚園教諭としてクラスを持ち、製作遊びの題材を考えて原画を描いたり、絵や写真を使って歌唱指導をしたり自分のできることを少しずつ増やしている最中です。そして子どもたちと向き合い、好きなことや夢中になれることを一緒に発見して喜び合えるような関わりができるよう考えながら、日々保育に取り組んでいます。

推薦者／大阪芸術大学 初等芸術教育学科
学科長 車谷 哲明



戸外遊び